

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

◎信仰的学びの機会を増やす。

◎地域との交流促進。

◎神戸昇天教会リーフレットの作成。

聖語 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。(ロマ12:15)

逝去者記念の季節に

～メメント・モリ（死を覚えよ）～

われらにおのが日を数えることを教え、知恵の心を得させてください。

(詩第90編12節)

司祭 ミカエル 小南 晃

11月1日は「諸聖徒日」です。諸聖徒日は、聖ペトロ、聖ヨハネといった、一人ひとりその名前を覚えておられる聖人ではなく、無名の殉教者たちを記念した日です。そして諸聖徒日の翌日の11月2日は「諸魂日」と呼ばれ、この日はすべての逝去者を記念する日となっています。そこで「諸聖徒日」そして「諸魂日」に始まる今月は、教会の逝去者記念の季節となっています。

11月は教会のお盆と言ってもよいかも知れません。

しかし何故11月1日に諸聖徒を覚えるのかについては色々と言があるようですが、8世紀のローマ教皇グレゴリウス3世が、聖ペトロ大聖堂に諸聖徒礼拝堂を建設し、その礼拝堂を11月1日に聖別記念日にしたことからと言われています。

逝去者記念礼拝

逝去者記念の時である今月は、多くの教会で歴代のその教会の逝去

者のために祈りが献げられます。

逝去者記念礼拝とは、まずは召された方々の天国での光明と平安を祈ることにあります。

また世にいる私たちも、世を去った兄弟姉妹も、主イエス・キリストにあって、その交わりは絶えることはないことを信じていますが、この礼拝はその信仰をさらに堅くするものと言えます。

さらに歴代の逝去者の方々のお名前が読み上げながら、私たちを見守ってくださっている天の全会衆に感謝し、そうした信仰の先達に倣って、私たちもまた信仰の馳せ場を走る決意を新たにしていること、それが教会における逝去者記念と言えます。

メメント・モリ

また逝去者記念は、私たちもまた死すべき存在であることを思う機会となります。死を思い起こすとは不吉で暗いものを感じる

かもしれません。しかし教会には「メメント・モリ」という言葉があります。ラテン語で「死を覚えよ」という意味ですが、これは暗い脅かしの言葉ではなく、また「人間はどうせ死ぬ身だから生きている内に楽しめ」という刹那的な言葉でもありません。限りある命を、神から与えられた大切な賜物として感謝し、一日一日を大切に過ごさなさいという意味です。冒頭の詩第90編12節の言葉は、それを教えるものです。

しかし、私たちの命が限りあることを覚えることが、そうした積極的姿勢を生むのは、死を越えて与えられている「天国、永遠の命」への希望があればこそです。そしてキリスト教の福音とはまさにそれを伝えるものなのです。

最近、「終活」という言葉をしばしば耳にします。人生の終わりを迎える備えをすることのようですが、これも「メメント・モリ」と言えるでしょう。

この逝去者記念の季節を、私たち自身の、よき「終活」の時とも出来れば幸いに思います。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)